

公益社団法人徳島県看護協会

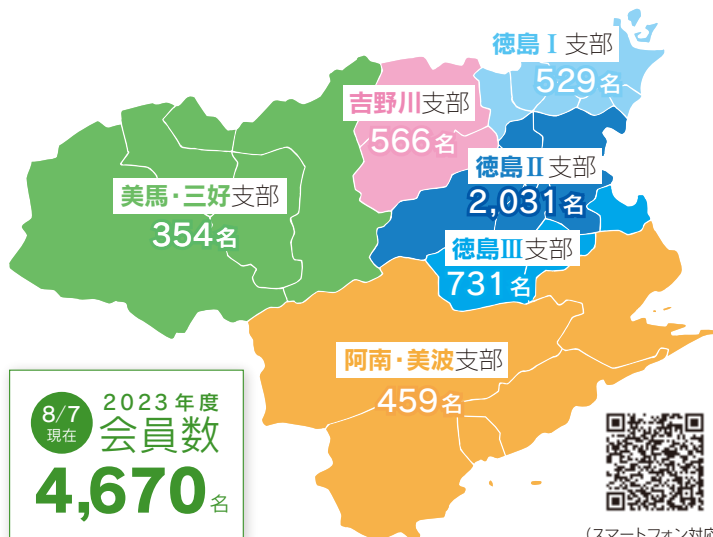
TOKUSHIMA
NURSING
ASSOCIATION

2023.8.31

協会ニュース

No.
106

表紙 写真提供 緒方静子様



CONTENTS

会長挨拶	2
春の叙勲および表彰	2
令和5年度 徳島県看護協会通常総会	3
2023(令和5)年度 役員・委員名簿	3
令和5年度 日本看護協会通常総会	5
令和5年度 全国職能別交流集会	5
新型コロナウイルス感染症と向き合って	6
ナースセンターだより	8
AWAナースサポートセンター事業	8
私の趣味	9
ワンポイントアドバイス No.49	9
協会のお知らせ	10
会員のつどい2023	10
編集後記	10

会長挨拶



会長 森 恭子

会員の皆様、日頃は公益社団法人徳島県看護協会の運営におきまして、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、6月10日に開催されました令和5年度通常総会におきまして会員の皆様にご承認いただき、会長を拝命いたしました。

会長就任から2ヶ月が過ぎ、看護職の職能団体としての組織力の大きさと使命、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。微力ではございますが、事業推進に尽力して参ります。

2022年に生まれた子どもの出生数は、77万747人で、統計を始めた1899年以降で最少となり、初めて80万人を割り込みました。合計特殊出生率は、1.26に落ち込み、2005年と並んで過去最低の水準となり、少子化の加速が止まらない状況です。18歳人口が減少する中、看護職を目指す人たちを確保することは、大きな課題です。

人員を確保するためには、処遇改善が重要事項となります。国家公務員の医療職(三)表が改正されました。看護職にとって追い風となる処遇改善ではありますが、今後それぞれの施設において、キャリアアップに伴う処遇改善の推進が検討されますよう、協会から情報発信等に努めて参ります。

さて、徳島県看護協会では、2023年10月から研修システム(研修会の検索・申込み等)が変わります。受講料の支払いが選択でき、研修申込みから受講までオンライン上で完結できます。今までよりも研修受講が便利になると思いますので、様々な研修に積極的に参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

今後も、円滑な事業推進と安定した協会運営を実現していきたいと思います。そのためには、更なる会員拡大が必要です。できるだけ多くの看護職の皆様协会会员となっただけできるよう、協会活動の魅力を発信していきたいと思います。

春の叙勲 および 表彰



瑞宝単光章
原 良江 様



優良看護職員の
厚生労働大臣表彰
三木 真澄 様



日本看護協会会長表彰
郡 利江 様

令和5年度



公益社団法人 徳島県看護協会

通常総会開催

令和5年

日時 6月10日(土) 9:30~12:00

公益社団法人徳島県看護協会通常総会を令和5年6月10日(土)、徳島大学大塚講堂で開催しました。

今年度は3年ぶりに感染対策を行いながら、コロナ以前のスタイルで総会を開催することができました。7名の来賓の方々をお招きし、一般参加者を含めた230名の出席と委任状3,575名の合計3,805名の参加で開催しました。

議決事項の第一号及び第二号議案と報告事項の令和4年度事業報告、令和5年度重点事業並びに事業計画、令和5年度資金収支予算及び収支予算について協議、報告がされ、議決事項はすべて承認されました。

令和5年度

重点目標

- 1 全世代型地域包括ケアにおける看護機能の強化
- 2 看護の質向上のための生涯教育の充実
- 3 様々な場の看護職が働き続けられる勤務環境の改善
- 4 災害や感染症などの健康危機管理体制の強化
- 5 本会の目的を達成するための基盤強化

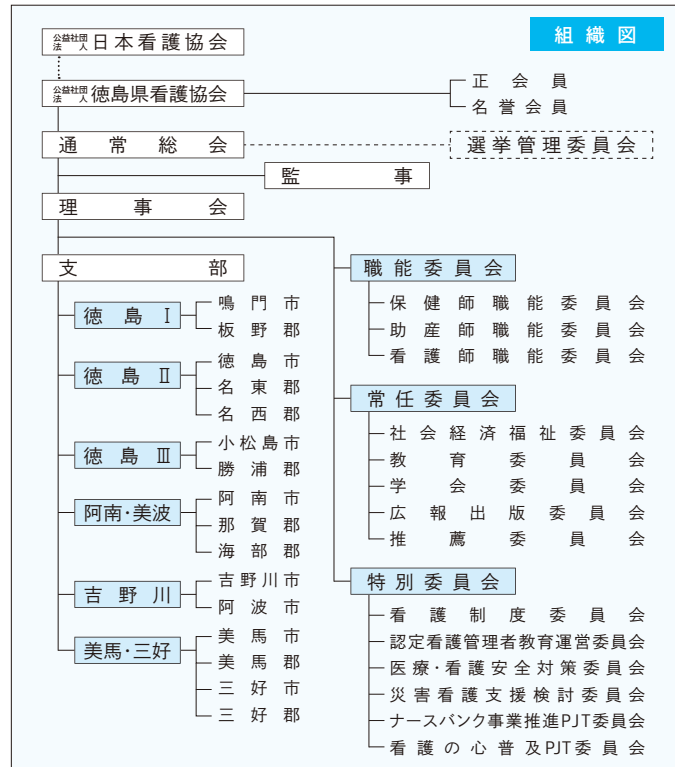
議案

- 第一号議案 令和4年度決算報告(案)及び監査報告
第二号議案 令和5年度役員及び推薦委員の改選並びに令和6年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について(案)

令和6年度

日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

職 種	代 議 員	予備代議員1	予備代議員2
保 健 師	原 美智代	横山 敦子	金山三恵子
助 産 師	森内 洋美	美馬 良美	橋本 美歩
看護師Ⅰ	宮本 美恵	辻 敬子	切佐古幸代
看護師Ⅱ	藤原都志子	渡部 光恵	大西 由香
准看護師	武田 美和	高城 晴美	



2023 (令和5) 年度

役員

役職・職能	氏 名	担当委員会名	勤 務 先
会 長	看・森 恭子		公益社団法人徳島県看護協会
第一副会長	助・鈴記 洋子	職 能 活 動 総 括・学 会 担 当	公益社団法人徳島県看護協会
第二副会長	看・三 木 真 澄	支 部 活 動 総 括・認 定 看 護 管 理 者 教 育 運 営 委 員 会・看 護 制 度 委 員 会	JA徳島厚生連吉野川医療センター
専務理事	保・横山 敦子	災害看護支援検討委員会・ナースバンク事業推進プロジェクトチーム委員会・看護の心普及プロジェクトチーム委員会	公益社団法人徳島県看護協会
常任理事	看・鈴木 察子	医 療・看 護 安 全 対 策 委 員 会	公益社団法人徳島県看護協会
理 事	保・原 美智代	保 健 師 職 能 委 員 長	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所庁舎)
〃	助・森内洋美	助 産 師 職 能 委 員 長	徳 島 大 学 病 院
〃	看・宮本美恵	看 護 師 職 能 委 員 長	徳 島 県 立 中 央 病 院
〃	看・喜来浩美	徳 島 Ⅰ 支 部 長	徳 島 県 鳴 門 病 院
〃	看・橋本幸子	徳 島 Ⅱ 支 部 長	徳 島 市 民 病 院
〃	看・庄野まゆみ	徳 島 Ⅲ 支 部 長	徳 島 赤 十 字 病 院
〃	看・館 美加	阿 南・美 波 支 部 長	JA徳島厚生連阿南医療センター
〃	看・西村久美子	吉 野 川 支 部 長	JA徳島厚生連阿波病院
〃	看・岸本小百合	美 馬・三 好 支 部 長	徳 島 県 立 三 好 病 院
〃	看・佐藤晴久	広 報 出 版 委 員 会	藍 里 病 院
〃	看・岩佐幸恵	教 育 委 員 会	徳島大学大学院医歯薬学研究部
〃	看・岩本優子	社 会 経 済 福 祉 委 員 会	徳島赤十字ひのめ医療療育センター
〃	准・武田美和	看 護 制 度 委 員 会	小 松 島 病 院
監 事	〃 外部 孝志 洋平		さくら税理士法人
〃	看 美馬敦美		徳 島 県 鳴 門 病 院

・印の理事はR5、R6年度任期

職能委員

氏 名	勤 務 先
保 健 師 職 能 委 員 会	原 美智代 徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
・岡久玲子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
・榊原陽子	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南保健所)
武市有紀子	徳 島 市 子 ど も 健 康 課
藤本ありさ	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
加 治 明 子	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
助 産 師 職 能 委 員 会	・森内洋美 徳 島 大 学 病 院
伊丹恵美	JA徳島厚生連阿南医療センター
・知野広美	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
橋本美歩	徳 島 県 立 中 央 病 院
富士本里美	JA徳島厚生連吉野川医療センター
・竹田紀子	徳 島 赤 十 字 病 院
・村井芳江	徳 島 市 民 病 院
看 護 師 職 能 委 員 会	宮本美恵 徳 島 県 立 中 央 病 院
大西由香	藍 里 病 院
・岡 香 於 里	た ま き 青 空 病 院
・岩本真理	徳 島 赤 十 字 病 院
・切佐古幸代	徳 島 県 立 三 好 病 院
辻 敬 子	さ た し ま 田 岡 病 院
・戸田伴江	徳 島 市 民 病 院
富樫和代	独)国立病院機構徳島病院
・藤原都志子	徳島県看護協会複合型サービス事業所あい
渡部光恵	四 国 大 学 看 護 学 部

・印の方はR5、R6年度任期

常任委員

職能	氏 名	勤 務 先
社会経済福祉委員会	保 ・岩田美枝	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	保 森 脇 沙 織	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南保健所)
	助 ・坂東美穂	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看 井内裕子	亀 井 病 院
	看 廣瀬千江美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 ・森本美香	徳島赤十字ひのみね医療療育センター
教育委員会	保 ・吉次真優	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	保 ・山田豊美	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(美波保健所)
	助 ・坂口朋枝	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	助 ・新居アユ子	四 国 大 学 看 護 学 部
	看 ・岩佐武彦	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看 檉本幸代	徳 島 赤 十 字 病 院
	看 ・黒川布美	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	看 ・久次米陽子	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看 四宮広美	徳 島 大 学 病 院
	看 ・國見法子	徳 島 市 民 病 院
	看 戸田己記	川 島 病 院
	看 橋本浩子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看 小川恵美	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 前川涼子	徳島赤十字ひのみね医療療育センター
学会委員会	看 ・山岡真由美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 山元明美	T A O K A こ こ ろ の 医 療 セ ン タ ー
	保 手塚侑子	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	助 ・川下美紀	徳 島 大 学 病 院
	助 ・山田健代	徳島文理大学保健福祉学部
	看 鵜飼真有	独) 国立病院機構東徳島医療センター
広報出版委員会	看 ・蔭山綾子	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 ・飯藤大和	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看 ・福田ひろみ	徳 島 赤 十 字 病 院
	保 湯浅香苗	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	保 多田美由貴	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	助 國安由美子	徳 島 県 立 三 好 病 院
推薦委員会	看 味上克子	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看 笠松香奈	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 角田匡弘	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	看 増田恵里	徳 島 市 民 病 院
	看 ・米田泰代	徳 島 赤 十 字 病 院
	保 西谷範子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
	保 ・前田恵美	徳島県東部保健福祉局(吉野川保健所)
	助 岡崎和世	徳 島 県 立 三 好 病 院
	助 ・三木香織	徳 島 大 学 病 院
	看 ・岩井久代	徳 島 市 民 病 院
	看 北林美由紀	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 ・佐藤敏恵	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看 ・高部麻由実	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 花岡賀美	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看 林 由理子	徳 島 赤 十 字 病 院

6 支部

	支 部 名	支 部 長 名	勤 務 先
支部長	美馬・三好支部	岸本小百合	徳 島 県 立 三 好 病 院
	吉野川支部	・西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
	徳島支部Ⅰ	・喜来浩美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	徳島支部Ⅱ	・橋本幸子	徳 島 市 民 病 院
	徳島支部Ⅲ	・庄野まゆみ	徳 島 赤 十 字 病 院
	阿南・美波支部	館 美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター

・印の方はR5、R6年度任期

特別委員

職能	氏 名	勤 務 先
看護制度委員会	保 徳永あいこ	徳島県保健福祉部医療政策課
	看 藍原美鈴	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看 阿部純子	ぎ た し ま 田 岡 病 院
	看 奥谷恵子	徳島県鳴門病院附属看護専門学校
	看 森 数江	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 三木真澄	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 村上王夫	藍 里 病 院
	准 武田美和	小 松 島 病 院
	看 石川和恵	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看 庄野まゆみ	徳 島 赤 十 字 病 院
認定看護管理者教育運営委員会	看 高開登茂子	徳島文理大学保健福祉学部
	看 中野あけみ	徳 島 大 学 病 院
	看 三木真澄	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 折村秀美	田 岡 病 院
	看 喜来浩美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 山田真裕美	徳 島 県 看 護 協 会
	看 鈴木察子	徳 島 県 看 護 協 会
	看 大坂朱美	徳 島 大 学 病 院
	看 坂田 司	徳 島 赤 十 字 病 院
	看 中野敦子	J A 徳島厚生連阿南医療センター
医療・看護安全対策委員会	看 福島 幸	徳 島 市 民 病 院
	看 正木典子	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 濱川みさこ	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看 家形美千代	徳 島 県 立 中 央 病 院
	保 阿部末菜実	徳島県保健福祉部医療政策課
	保 山下留理子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	保 横山敦子	徳 島 県 看 護 協 会
	看 逢坂めぐみ	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看 大西須真子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 桑村直美	J A 徳島厚生連阿南医療センター
災害看護支援検討委員会	看 上野妃呂子	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看 藤本華織	徳 島 赤 十 字 病 院
	看 山下千花	徳 島 市 民 病 院
	保 徳永あいこ	徳島県保健福祉部医療政策課
	保 横山敦子	徳 島 県 看 護 協 会
	助 中野和美	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看 石川早由里	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 近藤幸子	む つ み ホ ス ビ タ ル
	看 藤田都慕	川 島 病 院
	看 高岡正和	岩 朝 病 院
ナースン事務推進・ロエフ・チム人委員会	看 西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
	保 阿部末菜実	徳島県保健福祉部医療政策課
	保 横山敦子	徳 島 県 看 護 協 会
	看 勝瀬昌代	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看 岸本小百合	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看 黄田千佳	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看 喜来浩美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 庄野まゆみ	徳 島 赤 十 字 病 院
	看 西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
	看 橋本幸子	徳 島 市 民 病 院
看護の心普及プロジェクトチーム委員会	看 館 美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター

令和5年度

日本看護協会
通常総会

令和5年 6月7日(水) 9:30~17:15

場 所 幕張メッセ(千葉県千葉市)

令和5年度

公益社団法人 日本看護協会代議員

- 保** 原 美智代 徳島県西部総合県民局
保健福祉環境部(美馬保健所庁舎)
- 助** 森内 洋美 徳島大学病院
- 看** 宮本 美恵 徳島県立中央病院
- 看** 岡 香於里 たまき青空病院
- 准** 大西 由香 藍里病院

日本看護協会通常総会に参加して

公益社団法人徳島県看護協会 常任理事 鈴木 察子

日本看護協会は、6月7日、令和5年度通常総会を幕張メッセイベントホール(千葉県千葉市)で開催しました。新型コロナウイルス感染症が5月8日に2類相当から5類へ移行されて初めてで、感染対策を講じながらの開催となりました。746名の代議員が出席し、1,088名の一般参加があり活発な討議が行われました。議決事項の「名誉会員の推薦(案)」「2023年度改選役員及び推薦委員の選出について」と4つの報告事項が協議・報告されました。議決事項はすべて承認され、3期6年の任期を終える福井トシ子会長の後任として、高橋弘枝氏が第14代会長に選出されました。

令和5年度 全国職能別交流集会

令和5年 6月8日(木) 9:00~12:30

保健師職能委員会

地域住民の命と健康を守る保健師活動とは

保健師職能委員長 原 美智代

5月8日より感染症法における新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類」へと移行されましたが、ウィルスの脅威が収まったわけではなく、保健師活動は通常の地域保健活動に加え、感染対策も継続するという過渡期にあります。コロナ禍において、多くの保健師が公衆衛生の最前線で過酷な活動をしてきた実態が、昨年度の「保健師の活動基盤調査」でも明らかになりました。

基調講演では、人材育成・現任教育体制の充実における統括保健師の有効性に対応するケースや業務の複雑・困難化等の課題、関係機関・多職種との連携体制の構築・強化の必要性の認識等、「保健師の活動基盤調査」の結果について説明がありました。

その後のシンポジウムでは、「ポストコロナにおいて、活動領域を超えた看護職間の連携強化にむけて」をテーマに、県統括保健師、市保健師、看護協会、産業保健師からコロナ禍での看護職間の連携について活動報告がありました。

交流集会に参加して、地域住民の命と健康を守るため、保健師は他の看護職や他職種と連携体制を強化するとともに、これからの保健師活動を見直すことが重要であると改めて実感しました。

看護師職能委員会

病院における多様で柔軟な働き方の実現

看護師職能委員長 宮本 美恵

看護師職能委員会I病院領域は、地域医療構想の策定を踏まえ、地域におけるバランスのとれた医療提供体制の実現を目指し、地域包括ケアシステムの推進に向けた看護管理者の連携とその機能に関する情報収集・課題発見・意見集約を行っています。今回の全国看護師職能交流集会I病院領域では、地域の医療を支えていくために、確実な看護職の人材確保と安心して働き続けられる職場づくりについて取り組む活動方針が示されました。具体的には、看護職員の処遇改善、多様で柔軟な働き方、タスクシフト・タスクシェアの推進等です。そのため、それらの内容の理解を深めると共に、全国の施設の取り組みなどについても情報を共有しながら、意見交換をして参ります。

少子高齢化の中、労働力人口が減り続けています。夜勤をする看護師が足りない、求人を出しても応募がないなど現場の問題を共有し、「お互いさま」だけでは解決できない、頑張ろうといった気持ちだけでは解決できない時代であると認識した上で、課題解決に向けて皆様と一緒に考えて参りたいと思います。

助産師職能委員会

女性とその家族への支援に必要な体制の整備について考えよう

助産師職能委員長 森内 洋美

助産師職能委員会では、「1.助産師の活躍推進の検討」「2.分娩取扱施設の集約化に伴う助産師の多様な働き方」について意見集約・課題発見を行います。

女性を取り巻く状況の中で、成育過程にある女性は特有の健康問題を抱えながら働いている状況にもあり、個々のニーズに沿った健康支援を提供するために、持続可能かつ効率的で、助産師の専門性を発揮できる事業の提供体制を整備する必要があります。そのためには行政や県協会、実施施設との連携や役割分担、財源・人材の確保、人材の育成・質の担保などが必要になります。

また、助産師としての専門性を発揮し母子に寄り添ったケアを提供するために、引き続き「母子のための地域包括ケア病棟」推進し、母子保健領域の重要課題でもある「産後ケア事業」の普及活動と推進に努めていきます。産後ケアは、受け入れ体制の整備、利便性の向上、ユニバーサル化、質の向上、医療計画との関連を通じて、行政と共に発展させていく必要があると話されていました。

母子のための地域包括ケア病棟を推進し、全ての母子にとって安心・安全な妊娠・出産・育児環境を提供できることを目標として今後も活動していきたいと思っています。

看護師職能委員会II

看II領域でのICT等活用による業務改善について

看護師職能委員会II 介護・福祉関係施設・在宅等領域 横山 敦子

活動方針としては、「地域における連携・協働の推進に向けた情報収集・課題発見」「看取りへの対応の充実に向けた体制整備に関する情報収集・課題発見」が今年度新たに挙げられ、地域包括ケアシステムの充実や、尊厳ある看取りの実現のためのケア提供体制等について取り組むという報告がありました。

また、医療DXの推進に向けた国の政策動向とその対応についての情報提供があり、医療機関や施設等でのデジタル化の現状について知ることができました。

パネルディスカッションでは、ICT等の活用による業務改革の実際の取り組みについて、①訪問看護におけるエコーによるアセスメント導入と、情報共有ツールを用いたICTでの連携②直行・直帰制の導入のための医療・介護専門SNSであるMedeical Care STATION(MCS)を活用③特養における、介護ロボットの活用、介護記録ソフトのタブレット記録システムやインカムなどのICTの活用、バイタル測定タイプの睡眠センサーの導入などの発表がありました。

少子高齢化や人口減少社会を迎える中、業務の効率化やワークライフバランスを図っていく必要があり、積極的に新たな取り組みを進めていかないといけないことを実感することができました。

新型コロナウイルス感染症



徳島市民病院

猪子 美由紀

「新型コロナウイルスに負けないチーム力」 ～「ありがとう」を伝える～

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染予防の対策としてスタッフ間でのコミュニケーション機会が激減した2020年。感染の恐怖を隠しつつ、迅速なケアの提供に努める緊張の救急外来。スタッフの会話にネガティブな言葉が増えた時期でした。そこで、救急室に「ありがとうカード」を取り入れました。仕事の中に感じた感謝をカードに書き、「ありがとう」をスタッフ間で伝えあうことで、コロナ禍でも支え合えるチーム力に繋がりました。5類になった今も、感謝の気持ちでチーム力を高め、頑張っています。



徳島市民病院

大岩 恭子

産科病棟スタッフとして思うこと

当院産科病棟では感染者の分娩や帝王切開を数多く取り扱ってきました。経験したことのない状況に常に迷いながらの対応でした。また一般病棟でも家族と面会できず不安な入院生活を送る患者、陣痛室で一人で頑張らなければならなかった産婦、退院までわが子を抱けない新米パパ、そして黙食に耐えたスタッフ。本当に大変でしたね。今は新生児室前で家族と笑顔で赤ちゃんを見つめる姿を眺めながら、「ウイルスよ猛威を振るわずおとなしくて」と願うのみです。

徳島看護協会
訪問看護ステーション徳島

奥原 恵

正しく恐れて訪問した日々を 振り返る

当ステーションでは徳島県からの要請を受けて令和4年4月～令和5年3月末までの1年間に合計4名、延べ28回の訪問を実施しました。

【工夫したこと】

- ①要請に対応できるよう公用車や私用車にPPEセットを搭載
- ②待機当番電話、iPadなどのモバイルを充電し携帯しておく
- ③基本的に2名1組で対応して短時間でケアを行う
- ④担当の職員は直行直帰を基本として事業所内で感染を広げさせない
- ⑤週末を含めて対応可能な職員のリストを作成

上記に加え日々変化するコロナの状況把握をして対応しました。対応した職員が1名感染しましたが重症化にはならず経過しました。

この度の対応をふまえてBCPに活かすことができれば社会貢献につながると考えます。



徳島県立中央病院

櫻井 裕子

コロナ病棟で戦っている看護師

感染拡大時は感染病棟に止まらず、一般病棟を閉鎖し新生児から高齢者まで多くの方が入院されていました。PPEを着て汗だくになりながら、看護業務に加え日々の病室清掃やゴミ回収など全てを行っていました。色々と試行錯誤しながら看護をしていましたが退院時に納体袋越しでしか面会できない家族の姿を見て何とも言えない、やるせない気持ちになることもありました。大変な日々ですがスタッフ一丸となり励まし合いながらここまで乗り越えました。5類移行後、平常時に戻りつつありますが、これからも感染対策に十分注意しながら看護をしていきたいです。

と向き合って～2類から5類へ～



吉野川医療センター
佐藤 由布子

透析室の今後のあり方

コロナ禍において、私達医療者は日々の感染対策の重要性を見つめ直す機会となりました。

透析患者は免疫力低下や、通院患者が多いうえ長時間ワンプフロアで滞在するなど高リスク状態のため感染対策は特に厳重に対応していました。そのため、ソーシャルディスタンスなどの患者教育と感染症疑いの早期発見、ステージに応じた感染対策などを徹底しました。しかし、高齢透析患者への影響は人間関係の疎遠化や社会からの孤立感を与え、深刻な問題を引き起こしました。コロナ対策も情勢が変化し、緩和しつつあります。今後は感染対策を考慮しながら今まで自粛していた患者活動や地域多職種との連携も再開し、患者と社会への関わりを大切にしていきたいと考えます。



徳島大学
大学院医歯薬学研究部
安原 由子

コロナ禍における 看護技術演習の工夫

コロナ禍の当初は、学生にディスポーサブル物品を配布し、遠隔授業で教員のデモンストレーションを見ながら感染防護具の着脱や無菌操作を実施してもらう等、登校できない状況でも看護技術が習得できるように工夫しました。大学から対面授業の許可が出た後は、小グループの演習に変更しました。また、欠席者の学習や実技試験前の復習に活用してもらうため、教員のデモンストレーションを録画・保存し、いつでも演習室内で閲覧できるようにしました。



藍里病院
吉田 和人

新型コロナの 波に飲み込まれて思うこと

思い起こせばダイヤモンドプリンセス号の報道から、このような未曾有のパンデミックに3年以上も翻弄されることになるとは想像もつきませんでした。当院でも第8波に飲み込まれ2つの病棟にクラスターを経験しました。恐れていた通り、精神科病院特有の感染制御、専門知識や経験不足などの脆弱性を露呈する結果となり、病棟内での感染が瞬間に広がりました。この経験をバネに、感染対策への院内外の研修やスペシャリストの人材育成、組織体制の強化に努めていきたいと思います。



徳島県東部保健福祉局
(徳島保健所)
次長
浦西 由美

住民の命を守り、感染拡大を防ぐ

「住民の命を守り、感染拡大を防ぐ」を目的として、保健所有史以来のパンデミックに対峙してきました。第8波までを乗り越えてこられたのも、徳島県看護協会をはじめ、医療機関や訪問看護ステーション、高齢者施設等の全ての皆様のお陰と深く感謝しております。

想定を超えて繰り返される流行の波で、陽性者の増加等に伴い積極的疫学調査やクラスター施設対応等、業務量が膨大になりました。多くの応援をいただく中で特に、看護協会よりの電話相談対応看護職員とIHEAT (Infectious disease Health Emergency Assistance Team) の皆様には確かな技術と大きな愛を持って、保健所職員の技術面と精神面の両方を支えていただきお礼を申し上げます。

さて、コロナ対応における組織マネジメントの課題は、①役割分担と連携、②ICT活用と情報共有、③受援体制と人材育成です。今後は経験を活かし次に備えるため、県は「感染症予防計画」を策定。保健所は、平時から健康危機に備えた準備を計画的に進めるため「健康危機対処計画」を策定することとなっています。

今後も「住民の命を守り、感染拡大を防ぐ」ための活動を続けて参りますので、引き続きご協力をよろしくお願いします。



ナースセンターだより

徳島県看護協会では、セカンドキャリア看護職を対象に、看護職の生涯活躍を支援し、地域における看護職の質向上と人材確保の推進のために、「AWAナースサポートセンター」を設置し、運営しています。また、地域内の看看連携の推進や在宅、施設等の看護機能の強化をめざし、県内の3圏域で「地域密着エリアマネージャー」が活動しています。医療・介護施設や関係機関を訪問して、地域の課題を把握・対応し、看護職確保や看護職同士の連携強化等に努めています。

当ナースセンターは、「AWAナースサポートセンター」「地域密着エリアマネージャー」とともに、一体的に、看護職の生涯にわたる活躍をめざして、看護職の確保・定着、そして看護の質の向上に取り組んでいます。

徳島県看護職確保就業支援



看護職確保就業支援に3圏域でフレキシブルに活動している 地域密着エリアマネージャー紹介



西部圏域 地域密着エリアマネージャー
左から 藤本澄子・祖父江定子・武田佳代子



東部圏域 地域密着エリアマネージャー
左から 森玲子・杉原治美・武市佳余子



南部圏域 地域密着エリアマネージャー
左から 三木満理子・山崎恵里・多田晴美

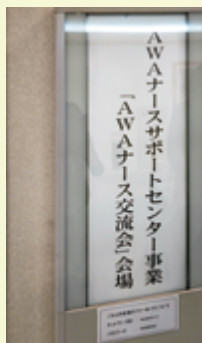
AWAナースサポートセンター事業

AWAナース (Active Working Action Nurse) 交流会

令和5年3月9日(木) 徳島グランヴィリオホテルにおいてAWAナースの交流会を開催いたしました。

AWAナースとして活躍されている皆さんから、活動内容や経験談など、活躍の場でよかったことまた困ったことなど直接お話を聞かせて頂きました。そして、たくさんのご配慮を頂きながら活動して下さったことを知ることができ心より感謝しております。また、これからのコーディネートや研修会を開催するにあたり、多くのご意見をお伺いすることもでき大変参考になりました。

今後も、AWAナースの皆さんには医療・看護を必要とする場で増々活躍して頂きたいと願っております。



私の趣味



JA 徳島厚生連阿南医療センター
白濱 優子

～綺麗な花に囲まれる幸せ～

私の趣味は土いじりです。子供の時から母が手入れをして家には絶えず花が咲いており小さいながらも綺麗な庭で、節目節目には花たちと写真を撮る習慣がありました。私の娘の卒園記念に頂いたビオラの鉢植えがきっかけで私も花を育てるようになりました。夏にはペチュニアを育て冬越しに成功し、秋にはビオラやパンジーの種蒔きをして春に満開の花が咲き並ぶと、私の成功体験となり、仕事への意欲へと繋がっていきます。



医療安全対策

No.49

ワンポイントアドバイス

指さし呼称、あなたと患者さんを守る分かれ道

✕ 指さし呼称しない



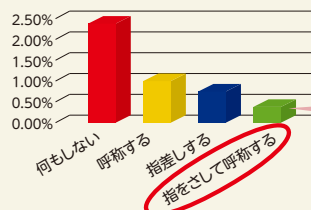
指さし呼称しないとこんなミスも…

- ・習慣的に体が動いてしまう
- ・動作中断
- ・注意不足 (うっかり、ぼんやり、勘違い)

目と耳と声と心で
確認を



指差し呼称のエラー率



○ 指さし呼称する



指さし呼称でエラーを防げます！



指さし呼称の
効果！

- ・認知機能の向上
- ・確認の精度向上
- ・意識レベルの向上

〈エラーが減る理由〉

指差し呼称をすると、指を動かす動作・自分の声を耳で聞くことで、脳の覚醒が促され注意力が高まります。これは **大脳の運動領域・筋知覚領域・言語領域・視知覚領域** が一斉に活動するためです。

徳島県看護協会では、生涯教育支援に **manaable** (マナブル) を導入しました。

10月からの研修申し込みがすべて **manaable** (マナブル) からの申し込みとなります。(お手数ですが10月以降の研修にすでにお申し込みされている方は再度お申し込みください。)

manaable (マナブル) のご利用には、**利用者登録が必要です。**
研修申込の場合は、事前に利用者登録をお願いします。

研修システム **manaable** (マナブル) の登録・利用方法

- ① 徳島県看護協会ホームページ等から「manaable」にアクセスする。
- ② 「新規登録」から、メールアドレス、会員番号、生年月日を入力する。
* 入会手続き中で会員番号が不明の方は事務局までお問い合わせください。
(非会員の方は「非会員」用からメールアドレスを入力する)
- ③ ②で登録したメールアドレス宛に、本登録用のURLが送信される。
- ④ メールで送信された本登録用URLから「manaable」に登録する。
- ⑤ 研修検索、受講申し込み、受講料支払い、資料ダウンロード等々行う。
- ⑥ 研修日当日はパソコン等から「manaable」にログインして、受講する。

徳島県



すだち

「会員のつどい2023」を開催して

昨年度はじめての取り組みとして「会員のつどい2023」を令和5年1月22日(日)にグランヴィリオホテルで開催しました。この会は会員同士の繋がりを深め、日頃の疲れを癒やし、今後の活力にさせていただくことを目的に企画しました。

当日は、新型コロナウイルス感染症対応に尽力して下さった会員及び会員施設への感謝状の贈呈、コロナで奔走された田岡病院院長 吉岡一夫先生からのメッセージ、お琴演奏やバルーンアートなどの会員の特技の発表などが行われ交流を図ることができました。

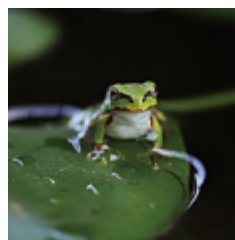
また会場では、プロさながらの写真や絵画などの作品展もあり、参加された皆さんにも関心を深めていただけました。

このような機会を通じて会員同士が交流を深め、会員施設のネットワークを構築することにより、協会活動の活性化に取り組んでまいります。



編集後記

協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後も皆様が身近に感じる話題を提供してまいりますのでよろしくお願いいたします。
(広報出版委員一同)



写真提供 森山節子様